

## 第2章

一・二・三・四類感染症及び全数把握対象の五類感染症報告状況

## 1. 一類感染症

一類感染症の報告はありませんでした。

## 2. 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)

報告はありませんでした。

### 結核 (Tuberculosis)

結核は、2007年4月1日から感染症法の二類対象疾患となり、ここでのデータは、横浜市健康福祉局健康安全課で作成した平成30(2018)年結核発生動向調査年報から引用しています。

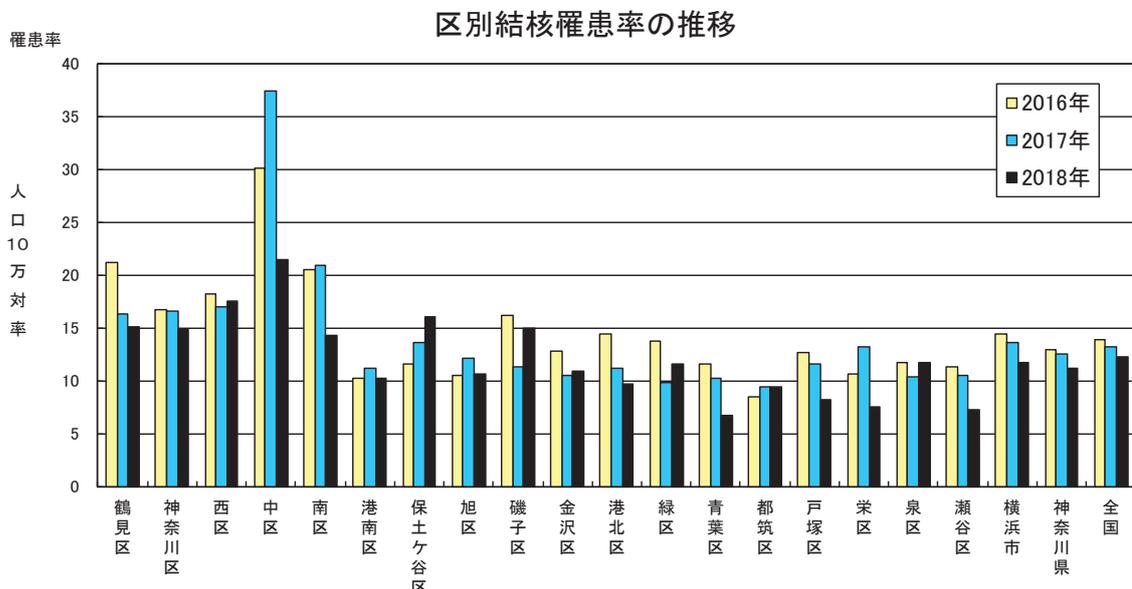
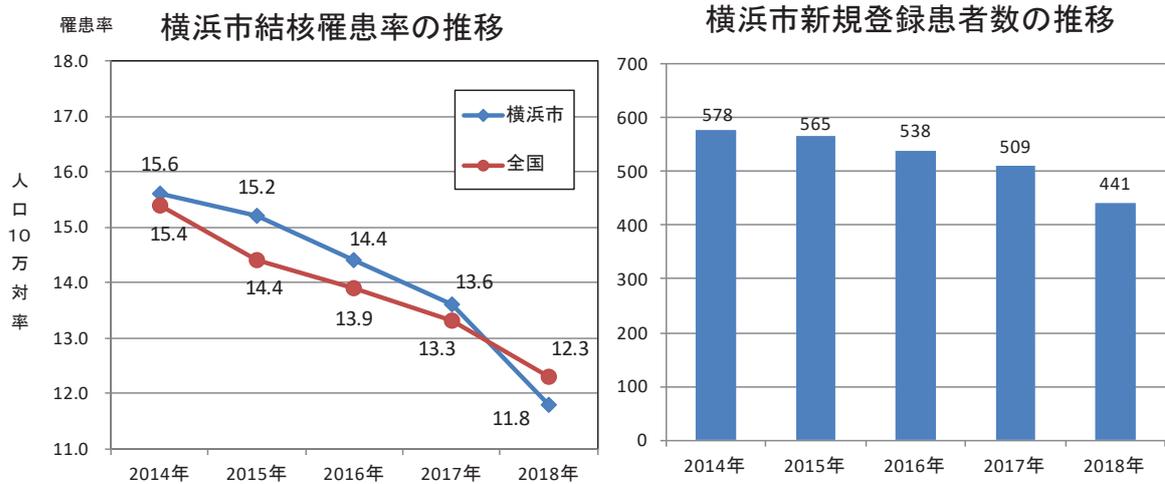
年間患者報告数は441例、罹患率<sup>\*</sup>は11.8(対前年比1.8減)でした。なお全国の罹患率<sup>\*</sup>(12.3、対前年比1.0減)を下回ったのは、2013年以降5年ぶりです。

男女別では男性が285例(64.6%)、女性が156例(35.4%)でした。

年齢層別では前年と同様に男女とも高齢者の報告が多く、65歳以上の患者は男性が159例(全体の36.1%)、女性が105例(全体の23.8%)で合計264例となり、全体の59.9%を占めています。また、小児結核(0~14歳)の報告はありませんでした。

行政区別の罹患率<sup>\*</sup>をみると、中区が21.5と最も多く、次いで西区が17.6、保土ヶ谷区が16.1の順でした。

※人口10万対



### 3. 三類感染症

#### 細菌性赤痢 (Shigellosis)

患者(症状あり)1例・無症状病原体保有者4例の報告があり、男性が3例、女性が2例でした。菌型は*Shigella sonnei*が3例、*S.flexneri*および*S.boydii*が各1例でした。年齢層別では60歳代が3例、20歳代および30歳代が各1例でした。推定感染地域はハワイが3例、エチオピアおよびバングラデシュが各1例でした。なお無症状病原体保有者の3名は、海外旅行中または帰国後に発症した患者の接触者調査で感染が判明しました。

#### 腸チフス (Typhoid fever)

50歳代女性1例の報告があり、推定感染地域はインドでした。

#### 腸管出血性大腸菌感染症 (Enterohemorrhagic *Escherichia coli* infection)

125例の報告があり、患者(症状あり)が86例(68.8%)、無症状病原体保有者が39例(31.2%)でした。

血清型はO157が最も多く96例(76.8%)で、次いでO26が10例(8.0%)、O111が4例(3.2%)、O145が3例(2.4%)、O121が2例(1.6%)、O8・O103・O104・O115・O128が各1例(0.8%)、不明が5例(4.0%)でした。

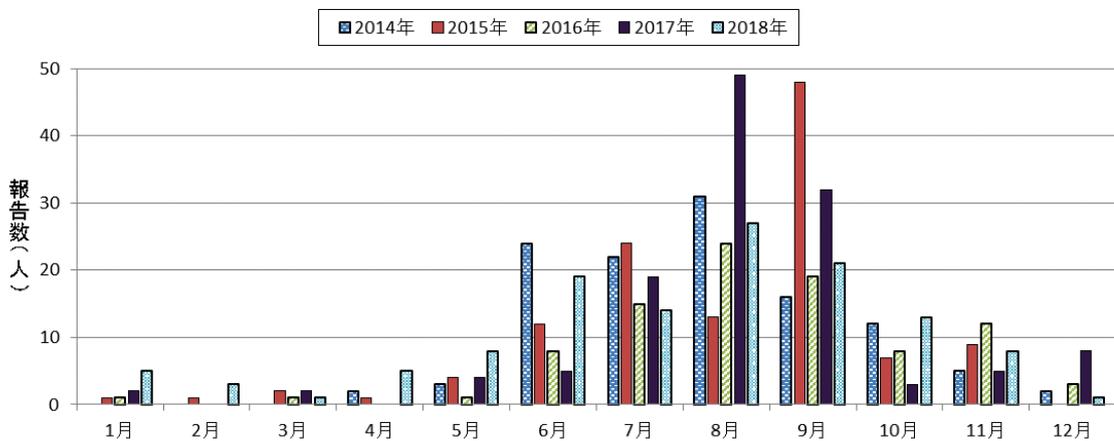
男女別では男性が50例(40.0%)、女性が75例(60.0%)でした。

年齢層別では20歳代が42例(33.6%)、10歳未満が17例(13.6%)、10歳代が14例(11.2%)、30歳代が12例(9.6%)、50歳代および60歳代が各11例(8.8%)、40歳代が8例(6.4%)、70歳代が7例(5.6%)、80歳代が2例(1.6%)、90歳代が1例(0.8%)でした。

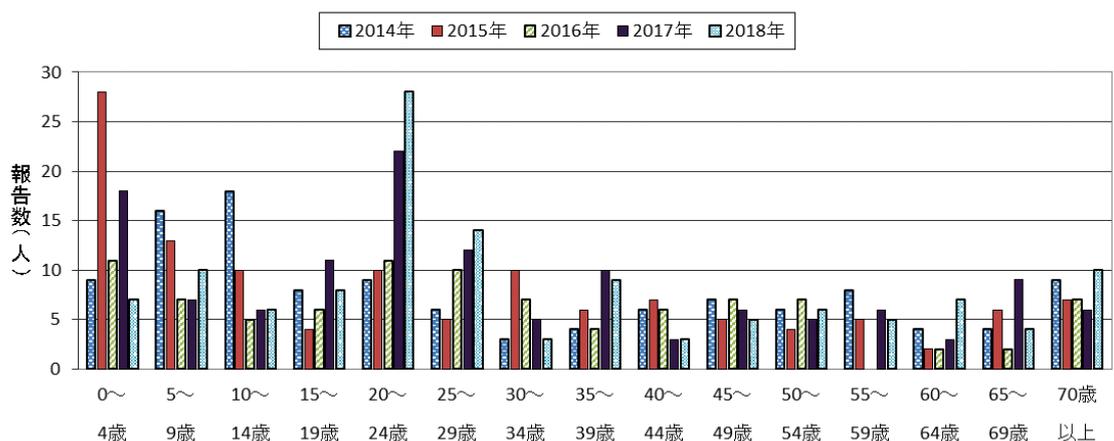
推定感染地域は日本国内101例(80.8%)、フィリピンが1例(0.8%)、不明が23例(18.4%)でした。

患者のうち女性1例が溶血性尿毒症症候群(HUS)と診断されており、血清型はO157でした。

過去5年間の月別報告数



過去5年間の年齢層別報告数



## 4. 四類感染症

### E型肝炎 (Hepatitis E)

17例の報告があり、男女別では男性が11例、女性が6例でした。年齢層別では40歳代・50歳代および70歳代が各4例、60歳代および80歳代が各2例、30歳代が1例でした。推定感染地域は全例日本国内でした。

### A型肝炎 (Hepatitis A)

41例の報告がありました。男女別では男性が40例、女性が1例で、年齢層別では30歳代が15例、20歳代が11例、40歳代が9例、50歳代が4例、60歳代および80歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内が35例、エチオピアおよび台湾が各1例、不明が4例でした。また例年と比べて、感染経路が同性間性的接触と推定される症例が多くみられました(男性40例中27例、疑い例を含む)。

### デング熱 (Dengue fever)

11例の報告があり、病型はいずれもデング熱でした。男女別では男性6例、女性5例でした。年齢層別では10歳代が4例、30歳代が3例、20歳代が2例、40歳代および50歳代が各1例でした。推定感染地域はフィリピンが4例、ベトナムおよびマレーシアが各2例、インド・スリランカおよびタイが各1例でした。

### ライム病 (Lyme disease)

30歳代女性1名の報告がありました。推定感染地域は日本国内でした。

### レジオネラ症 (Legionellosis)

35例の報告があり、病型は全例肺炎型でした。男女別では男性が24例(68.6%)、女性が11例(31.4%)でした。年齢層別では70歳代が13例(37.1%)、60歳代が11例(31.4%)、90歳代が6例(17.1%)、80歳代が3例(8.6%)、30歳代および50歳代が各1例(2.9%)でした。推定感染地域は日本国内が30例(85.7%)、韓国および中国が各1例(2.9%)、不明が3例(8.6%)でした。

### レプトスピラ症 (Leptospirosis)

30歳代男性1名の報告がありました。推定感染地域は日本国内でした。

## 5. 五類感染症(全数把握対象)

### アメーバ赤痢 (Amoebiasis)

35例の報告があり、病型は腸管アメーバ症が34例、腸管外アメーバ症が1例でした。男女別では男性が29例で女性が6例、年齢層別では50歳代が14例、40歳代が8例、30歳代が6例、60歳代が5例、70歳代および80歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内が25例、海外が7例、不明が3例で、海外の内訳はアメリカ合衆国・インド・インドネシア・カンボジア・ブラジル・ベトナムおよび不明が各1例でした。

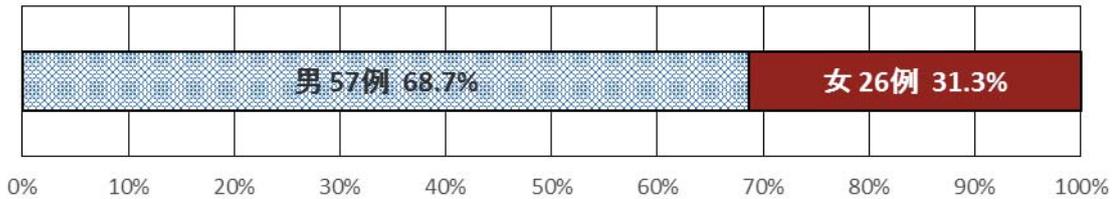
### ウイルス性肝炎 (Viral hepatitis)

男女各4例、計8例の報告があり、病型はB型が7例、その他(サイトメガロウイルス)が1例でした。年齢層別では20歳代および40歳代が各2例、10歳代・30歳代・50歳代および60歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内が6例、インドネシアおよびタイが各1例でした。

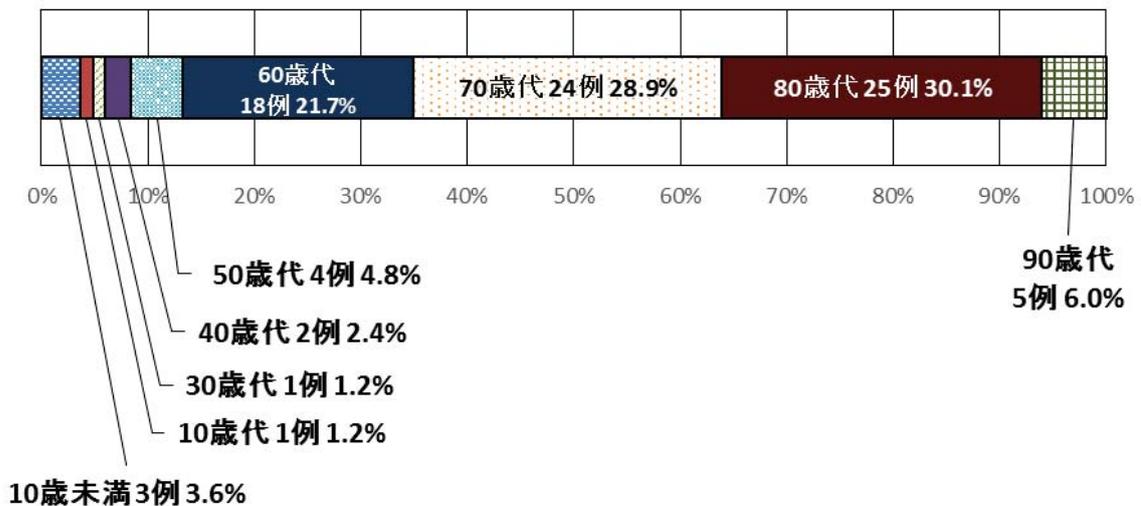
### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 (Carbapenem-resistant Enterobacteriaceae Infection)

83例の報告があり、男女別では男性57例(68.7%)、女性26例(31.3%)でした。年齢層別では80歳代が25例(30.1%)、70歳代が24例(28.9%)、60歳代が18例(21.7%)、90歳代が5例(6.0%)、50歳代が4例(4.8%)、10歳未満が3例(3.6%)、40歳代が2例(2.4%)、10歳代および30歳代が各1例(1.2%)でした。推定感染地域は日本国内が77例(92.8%)、タイまたはベトナムが1例(1.2%)、不明が5例(6.0%)でした。

### 男女別報告割合(2018年)



### 年齢層別報告割合(2018年)



#### 急性弛緩性麻痺 (Acute Flaccid Paralysis:AFP)

3例の報告があり、男女別では男性1例、女性2例でした。年齢層別では10歳未満が2例、10歳代が1例でした。病原体はいずれも不明で、うち2例はポリオウイルス陰性が確認されました。

#### 急性脳炎 (Acute encephalitis)

男女各8例、計16例の報告がありました。年齢層別では10歳未満が14例、60歳代および70歳代が各1例でした。病原体はインフルエンザウイルスが2例(A型1例、B型1例)、水痘帯状疱疹ウイルスおよびヒトヘルペスウイルスが各2例、風しんウイルスが1例、病原体不明が9例でした。

#### クロイツフェルトヤコブ病 (Creutzfeldt-Jakob Disease:CJD)

男女各3例、計6例の報告がありました。年齢層別では70歳代が5例、60歳代が1例で、病型は古典型CJDが4例、家族性CJDが2例でした。

#### 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (Sever invasive Streptococcal infection)

21例の報告があり、男女別では男性8例、女性13例でした。年齢層別では80歳代が5例、50歳代・60歳代および70歳代が各3例、10歳未満・20歳代および30歳代が各2例、90歳代が1例でした。

#### 後天性免疫不全症候群 (Acquired Immunodeficiency Syndrome:AIDS)

35例の報告があり、男女別では男性32例(91.4%)、女性3例(8.6%)でした。病型は無症候性キャリアが18例(51.4%)、AIDSが13例(37.1%)、その他が4例(11.4%)でした。年齢層別では20歳代および30歳代が各10例

(28.6%)、40歳代が8例(22.9%)、50歳代が3例(8.6%)、10歳代および60歳代が各2例(5.7%)でした。推定感染地域は日本国内が23例(65.7%)、その他が9例(25.7%)、不明が4例(11.4%)でした(重複あり)。

### ジアルジア症 (Giardia disease)

男性2例の報告がありました。年齢層別では10歳代および20歳代が各1例で、推定感染地域は日本国内でした。

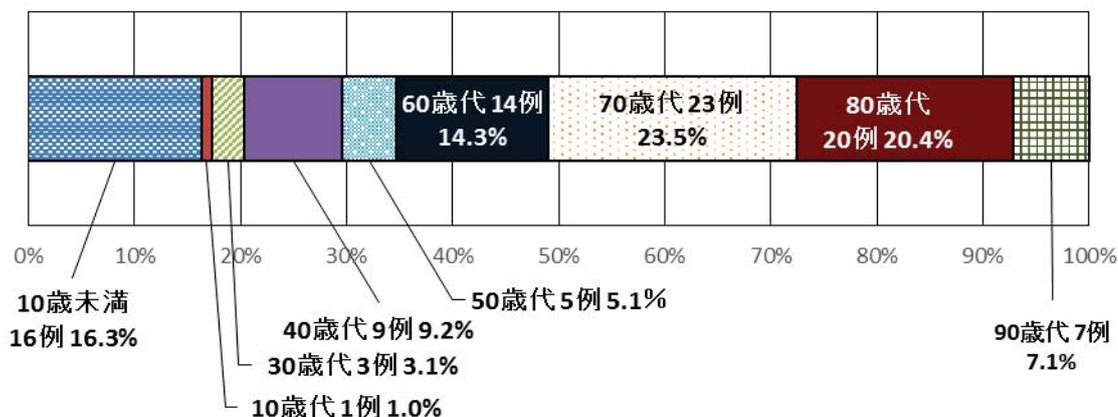
### 侵襲性インフルエンザ菌感染症 (Invasive *Haemophilus Influenzae* Infection)

男女各7例、計14例の報告がありました。年齢層別では90歳代が5例、70歳代が4例、80歳代が2例、10歳未満・30歳代および60歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内が10例、不明が4例でした。ヒブワクチンについては10歳未満の1例では接種歴が確認できましたが、成人13例はいずれも接種歴は確認できませんでした。

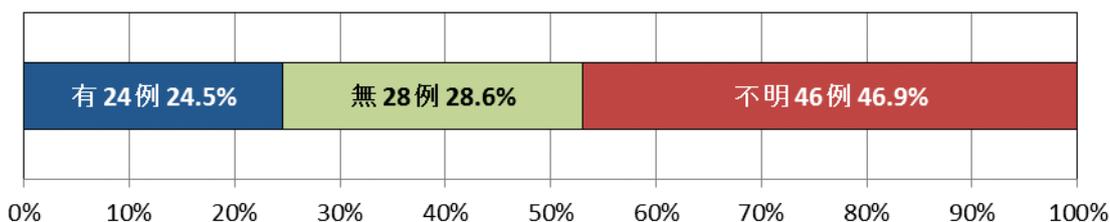
### 侵襲性肺炎球菌感染症 (Invasive Pneumococcal Infection)

98例の報告があり、男性が60例(61.2%)、女性が38例(38.8%)でした。年齢層別では70歳代が23例(23.5%)、80歳代が20例(20.4%)、10歳未満が16例(16.3%)、60歳代が14例(14.3%)の順で、全体の65.3%にあたる64例が60歳以上でした。推定感染地域は日本国内92例(93.9%)、不明6例(6.1%)でした。ワクチン接種歴は有24例(24.5%)、無28例(28.6%)、不明46例(46.9%)でしたが、60歳以上に限定するとワクチン接種が確認できたのは64例中8例でした。なお10歳未満では16例全例でワクチン接種が確認できました。

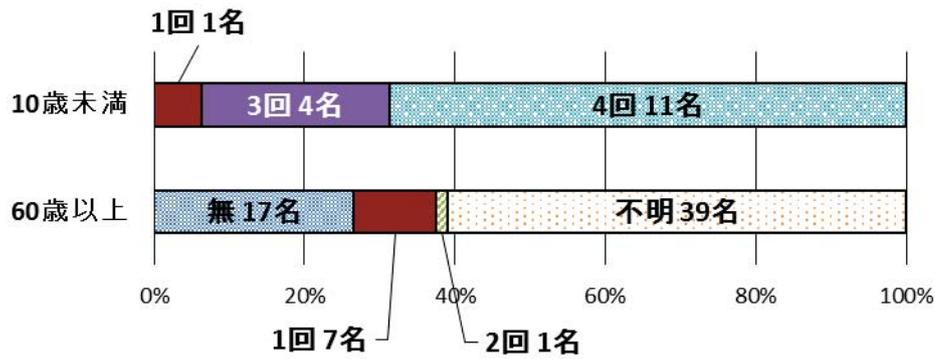
年齢層別報告割合(2018年)



ワクチン接種の有無(2018年)



### 10歳未満と60歳以上のワクチン接種回数比較(2018年)



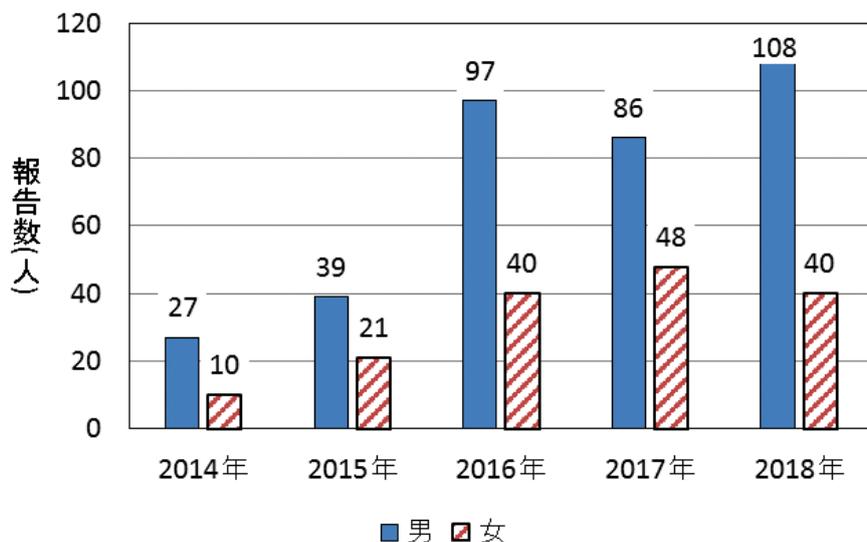
### 水痘(入院例に限る) (Varicella < Chickenpox >)

25例の報告があり、男性が14例、女性が11例でした。年齢層別では20歳代が7例、40歳代が6例、80歳代が3例、10歳未満・30歳代および60歳代が各2例、10歳代・70歳代および90歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内が22例、ドイツが1例、不明が2例でした。ワクチン接種歴は4例で確認できましたが、残りの21例は接種歴なしまたは不明でした。

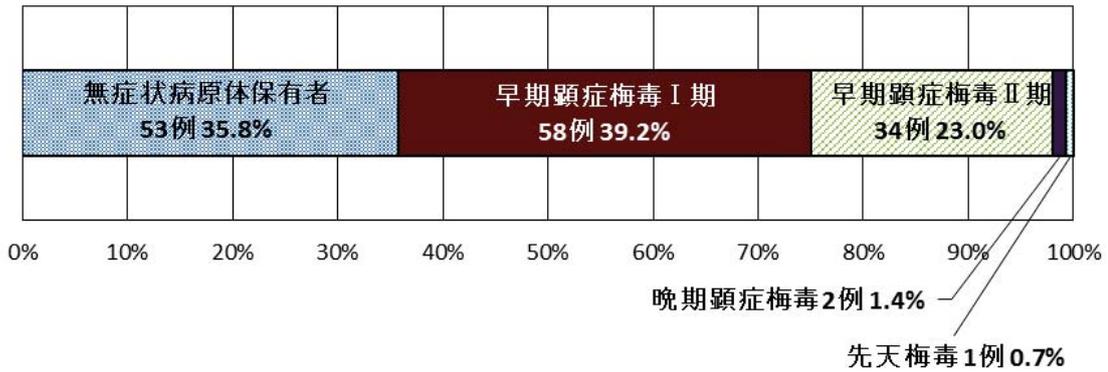
### 梅毒 (Syphilis)

148例の報告があり、病型は早期顕症梅毒Ⅰ期が58例(39.2%)、無症状病原体保有者が53例(35.8%)、早期顕症梅毒Ⅱ期が34例(23.0%)、晚期顕症梅毒が2例(1.4%)、先天梅毒が1例(0.7%)でした。男女別では男性が108例(73.0%)、女性が40例(27.0%)でした。年齢層別では20歳代および40歳代が各39例(26.4%)、30歳代が37例(25.0%)、50歳代が17例(11.5%)で、30歳代以下が5割を超えており、また女性に限定すると30歳代以下が8割近くを占めています。推定感染地域は日本国内が127例(85.8%)、インドネシア・タイおよびドイツが各1例(0.7%)、不明が19例(12.8%)でした(重複あり)。

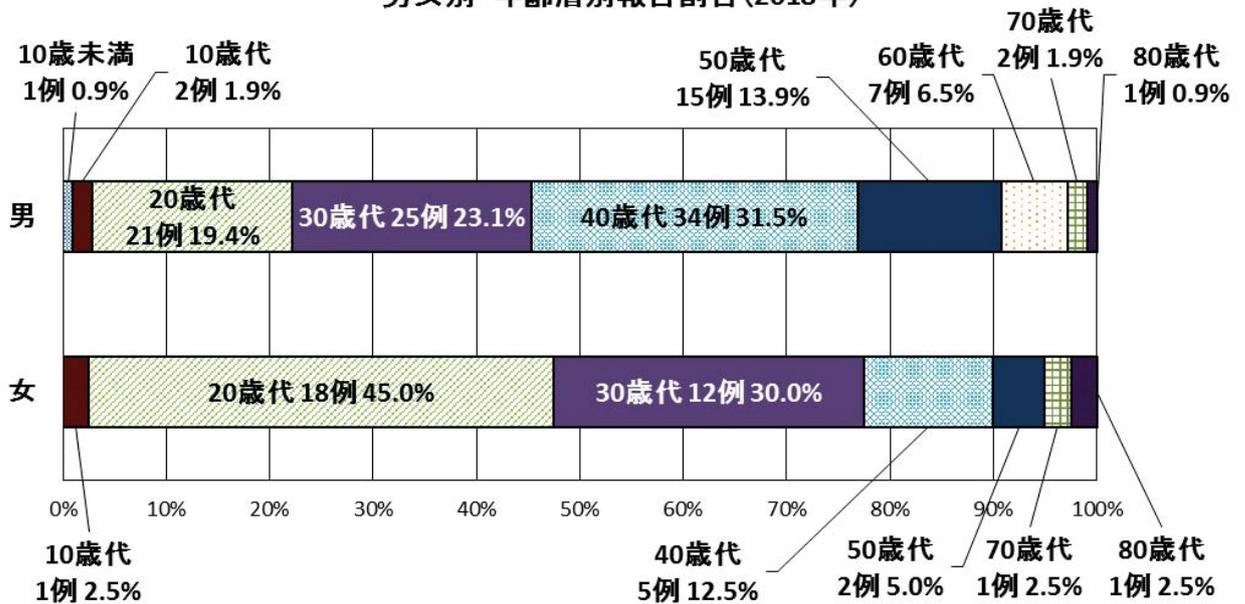
### 過去5年間の報告数推移



### 症状別報告割合(2018年)



### 男女別・年齢層別報告割合(2018年)



#### 播種性クリプトコックス症 (Disseminated Cryptococcosis)

80歳代女性2例の報告があり、推定感染地域は日本国内および不明が各1例でした。

#### 破傷風 (Tetanus)

男性2例の報告がありました。年齢層別では10歳代および60歳代が各1例で、推定感染地域はいずれも日本国内でした。

#### バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (Vancomycin-Resistant Enterococcal Infection :VRE)

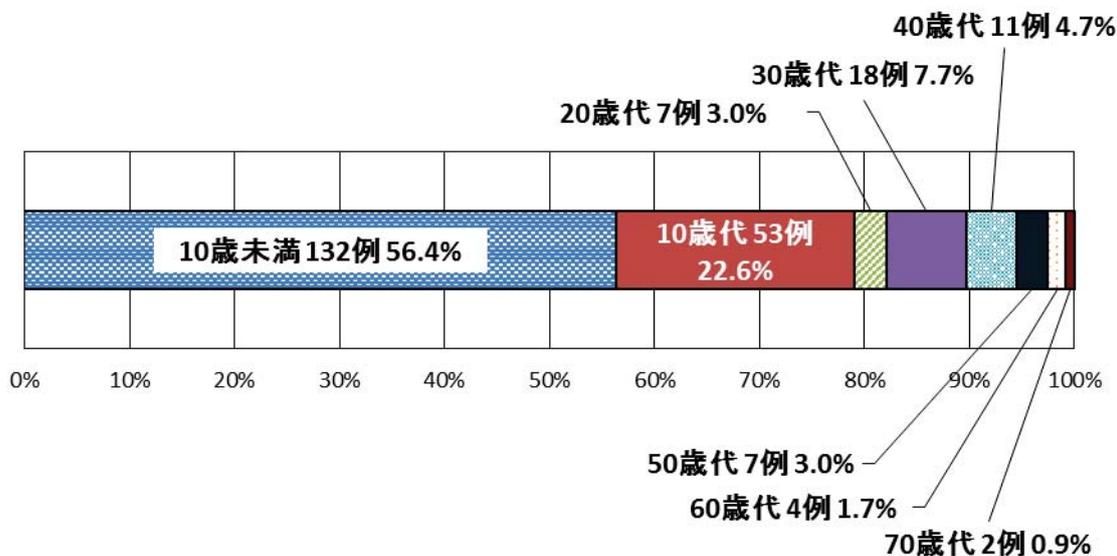
3例の報告があり、男女別では男性2例、女性1例でした。年齢層別では30歳代・40歳代および60歳代が各1例で、推定感染地域は日本国内が2例、ネパールが1例でした。

#### 百日咳 (Pertussis)

234例の報告があり、ワクチン接種歴が4回確認されている症例報告もありました。男女別では男性95例(40.6%)、女性139例(59.4%)でした。年齢層別では10歳未満が132例(56.4%)、10歳代が53例(22.6%)と20歳

未満が全体の8割弱を占めました。10歳未満の内訳では0歳と7歳が各29例、次いで6歳24例、8歳19例と多く、また0歳児29例のうち21例はワクチン未接種でした。推定感染地域は日本国内が212例(90.6%)、フィリピンが1例(0.4%)、不明が21例(9.0%)でした。

年齢層別報告割合(2018年)

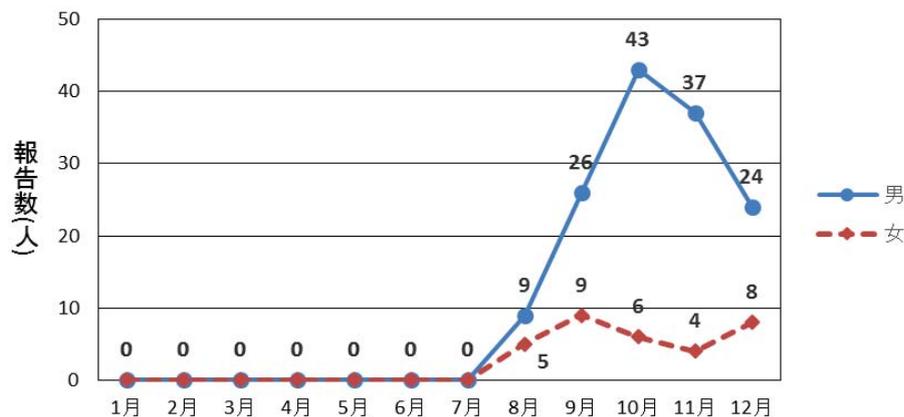


### 風しん (Rubella)

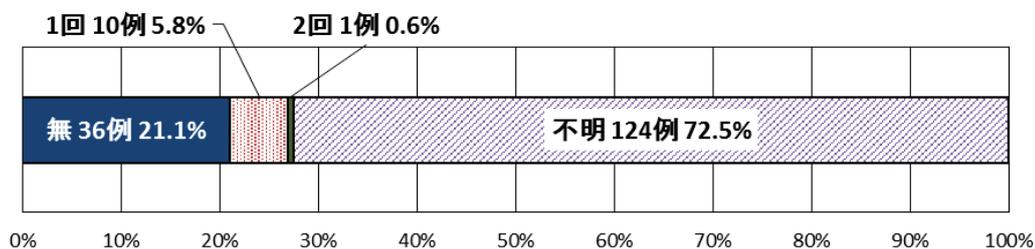
171例の報告があり、男女別では男性139例、女性32例でした。年齢層別では40歳代が52例(30.4%)、30歳代が41例(24.0%)、20歳代が37例(21.6%)、50歳代が29例(17.0%)、60歳代が6例(3.5%)、10歳代が4例(2.3%)、10歳未満が2例(1.2%)でした。推定感染地域は日本国内が148例(86.5%)、不明が23例(13.5%)でした。171例中、ワクチン接種歴が確認できたのは11例(6.4%)で、残りは接種歴無または不明でした。

2012年から2013年にかけての風しん流行では、特に20～40歳代男性の発症数が多いという傾向がありましたが、2018年においてもこの傾向はほぼ同様でした。

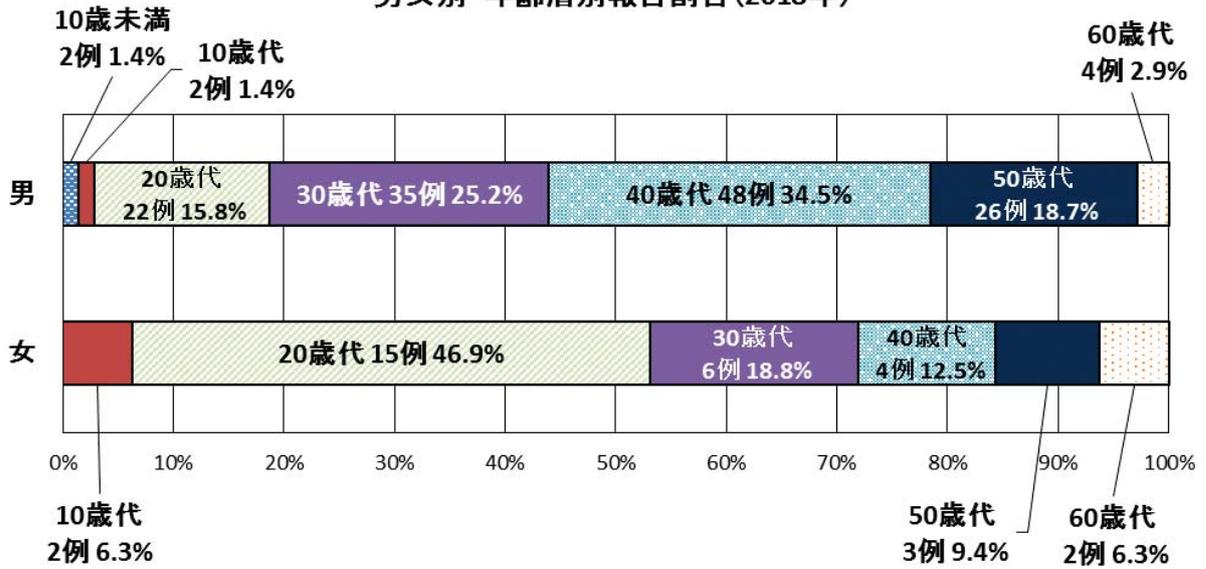
男女別・月別患者数推移(2018年)



ワクチン接種回数(2018年)



男女別・年齢層別報告割合(2018年)



麻疹 (Measles)

3例の報告があり、うち1例は修飾麻疹との診断でした。男女別では男性が2例、女性が1例で、年齢層別では20歳代・30歳代および50歳代が各1例でした。遺伝子型はB3が1例、D8が2例でした。推定感染地域はタイ・バングラデシュおよび日本国内が各1例で、国内発生の1例は発症者との接触が確認されています。

年別患者報告数(全数把握対象の感染症)

分類	疾病名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
	結核	578	565	538	509	441
	ジフテリア	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群(MERS) (※1)	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9) (※1)	-	-	-	-	-
三類	コレラ	-	1	-	-	-
	細菌性赤痢	3	6	3	6	5
	腸管出血性大腸菌感染症	117	122	92	129	125
	腸チフス	1	1	2	1	1
	パラチフス	-	8	-	-	-
四類	E型肝炎	2	5	9	3	17
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-
	A型肝炎	8	8	10	7	41
	エキノコックス症	1	-	-	-	-
	黄熱	-	-	-	-	-
	オウム病	-	-	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	1	-
	サル痘	-	-	-	-	-
	ジカウイルス感染症(※2)	-	-	3	1	-
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	-	-	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	-	-
	つつが虫病	-	1	-	-	-
	デング熱	20	20	13	9	11
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1およびH7N9を除く)	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-
発しんチフス	-	-	-	-	-	
ボツリヌス症	-	-	1	-	-	
マラリア	4	1	3	1	-	

分類	疾病名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
四類	野兔病	-	-	-	-	-
	ライム病	-	1	-	1	1
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	-	-
	レジオネラ症	51	63	55	37	35
	レプトスピラ症	2	-	1	-	1
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	66	51	55	47	35
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	2	5	7	3	8
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	13	45	55	53	83
	急性弛緩性麻痺(※4)					3
	急性脳炎	21	19	26	24	16
	クリプトスポリジウム症	-	1	1	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	7	3	3	2	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14	15	25	25	21
	後天性免疫不全症候群	58	48	44	49	35
	ジアルジア症	1	4	2	1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9	8	11	7	14
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	2	-	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	79	101	110	116	98
	水痘(入院例に限る)	3	11	14	9	25
	先天性風しん症候群	-	-	-	-	-
	梅毒	37	60	137	134	148
	播種性クリプトコックス症	-	3	-	3	2
	破傷風	2	2	-	3	2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	3	4	3	3
百日咳(※3)					234	
風しん	37	6	3	9	171	
麻しん	11	1	-	4	3	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	-	1	-	-	

(- : 0件)

(※1) 2015年1月21日より追加

(※2) 2016年2月5日より追加

(※3) 2018年1月1日、5類定点疾患より変更

(※4) 2018年5月1日より追加

2018年に報告された全数把握対象の感染症 区別内訳(男女)

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計	
二類	結核	44	36	18	32	28	22	33	26	25	22	34	21	21	20	23	9	18	9	441	
三類	細菌性赤痢							1	1		1			1		1				5	
	腸管出血性大腸菌感染症	16	7	4	6	7	8	11	10	3	4	9	8	7	8	10	1	4	2	125	
	腸チフス							1												1	
四類	E型肝炎	1		2	1		2	1	3		3				2	2				17	
	A型肝炎		1	4		1	1	19	2		6	3		1	1	2				41	
	デング熱					1		8				1		1						11	
	ライム病							1												1	
	レジオネラ症	1		1		1		7	5	1	1	3		2	1	5	5	2		35	
レプトスピラ症										1										1	
五類	アメーバ赤痢	2	1	13	4		2	2	1		1	2	2	2	1	2				35	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	1		1	1			1	1		1					1	1			8	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	1	9	15	13		12	5	3	8	3			3	4	2	3		83	
	急性弛緩性麻痺					2							1								3
	急性脳炎					8	2		4						2						16
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1								1					1		3				6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2		1	3	2	5	2	4		1							1			21
	後天性免疫不全症候群	2	2		1	4		14			7			1	2	1		1			35
	ジアルジア症							1		1											2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			2	2			4	1		1			2	1	1					14
	侵襲性髄膜炎菌感染症								1												1
	侵襲性肺炎球菌感染症	5		3	8	8	9	8	14	1	12	6	1	5	6	8	2	2			98
	水痘(入院例に限る)	2	1	1		6	1	2	1		7	1			1	2					25
	梅毒	17	2	3	36	5	4	28	4	3	4	5	3	9	11	9	2	2	1		148
	播種性クリプトコックス症			1				1													2
	破傷風												1						1		2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1								1		1									3
	百日咳	23	20	11	4		16	9	4		9	16	26	15	27	51			3		234
風しん	19	12	6	7	8	9	12	15	8	6	16	10	17	9	9	7	1			171	
麻疹	2							1												3	
	計	141	83	80	120	94	81	179	103	46	96	101	72	86	94	133	32	35	12	1,588	

2018年に報告された全数把握対象の感染症 区別内訳(男)

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計	
二類	結核	30	24	12	23	20	16	21	17	13	11	25	15	13	11	13	7	8	6	285	
三類	細菌性赤痢							1			1			1						3	
	腸管出血性大腸菌感染症	10	3	2	2	2	2	4	3	1	2	4	5	3	2	3	1	1		50	
	腸チフス																			0	
四類	E型肝炎	1		2			2				3				2	1				11	
	A型肝炎		1	4		1	1	19	2		6	3		1	1	1				40	
	デング熱							4				1		1						6	
	ライム病																			0	
	レジオネラ症	1						6	2	1	1	2		2	1	1	5	2		24	
レプトスピラ症										1										1	
五類	アメーバ赤痢	2	1	9	3		2	2	1		1	2	1	2	1	2				29	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)				1			1	1		1									4	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	1	5	12	10		7	4	2	6	3			2		1	2		57	
	急性弛緩性麻痺												1								1
	急性脳炎					4	2		1						1					8	
	クロイツフェルト・ヤコブ病													1		2				3	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	2	2	2		1									8	
	後天性免疫不全症候群	2	2		1	4		14			5			1	1	1		1		32	
	ジアルジア症							1		1										2	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症				1			3	1		1				1					7	
	侵襲性髄膜炎菌感染症								1												1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		1	2	5	5	7	10		8	4		4	4	4	1	1		60	
	水痘(入院例に限る)	2	1	1		2	1		1		4	1				1				14	
	梅毒	13	1	1	25	4	3	23	3	3	3	3	2	8	8	6	1	1		108	
	播種性クリプトコックス症																				0
	破傷風												1						1		2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1									1										2
	百日咳	7	6	4	1		7	4	4		6	8	10	7	15	13			3		95
風しん	16	10	6	6	6	5	11	13	6	4	13	10	15	8	6	4				139	
麻疹	1							1												2	
	計	92	50	47	77	59	48	131	66	27	66	71	44	59	58	53	22	18	6	994	

2018年に報告された全数把握対象の感染症 区別内訳(女)

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計
二類	結核	14	12	6	9	8	6	12	9	12	11	9	6	8	9	10	2	10	3	156
三類	細菌性赤痢								1							1				2
	腸管出血性大腸菌感染症	6	4	2	4	5	6	7	7	2	2	5	3	4	6	7		3	2	75
	腸チフス							1												1
四類	E型肝炎				1			1	3							1				6
	A型肝炎															1				1
	デング熱					1		4												5
	ライム病							1												1
	レジオネラ症			1		1		1	3			1				4				11
	レプトスピラ症																			0
五類	アメーバ赤痢			4	1								1							6
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	1		1												1	1			4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			4	3	3		5	1	1	2				1	4	1	1		26
	急性弛緩性麻痺					2														2
	急性脳炎					4			3						1					8
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1								1						1				3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2		1	3	1	3		2									1		13
	後天性免疫不全症候群										2			1						3
	ジアルジア症																			0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			2	1			1						2		1				7
	侵襲性髄膜炎菌感染症																			0
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		2	6	3	4	1	4	1	4	2	1	1	2	4	1	1		38
	水痘(入院例に限る)					4		2			3				1	1				11
	梅毒	4	1	2	11	1	1	5	1		1	2	1	1	3	3	1	1	1	40
	播種性クリプトコックス症			1				1												2
	破傷風																			0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								1											1
	百日咳	16	14	7	3		9	5			3	8	16	8	12	38				139
	風しん	3	2		1	2	4	1	2	2	2	3		2	1	3	3	1		32
	麻しん	1																		1
	計	49	33	33	43	35	33	48	37	19	30	30	28	27	36	80	10	17	6	594

2018年に報告された全数把握対象の感染症 月別内訳(男女)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	39	29	31	34	48	30	37	47	29	50	33	34	441
三類	細菌性赤痢		1	1								2	1	5
	腸管出血性大腸菌感染症	5	3	1	5	8	19	14	27	21	13	8	1	125
	腸チフス									1				1
四類	E型肝炎			1	1		2	3		4	2	1	3	17
	A型肝炎	1	3	4	5	5	6	2	4	5	1	3	2	41
	デング熱			1				1	2	2	1	3	1	11
	ライム病							1						1
	レジオネラ症		3	2	3	2	2	5		4	6	4	4	35
	レプトスピラ症									1				1
五類	アメーバ赤痢		1	1	4	3	4	4	3	4	3	2	6	35
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)				3		1		3	1				8
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7	1	3	2	11	6	7	14	9	11	5	7	83
	急性弛緩性麻痺					1					1	1		3
	急性脳炎	5	2	1	1		1			1	1	2	2	16
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	1	1						1			1	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	2	2	1	2	1	4	2	1		1	2	21
	後天性免疫不全症候群	2	2	3	6	1	4	5	2	2	4	2	2	35
	ジアルジア症				1						1			2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	2		1	1	2	3		1			2	14
	侵襲性髄膜炎菌感染症				1									1
	侵襲性肺炎球菌感染症	15	13	10	9	14	3	6	3	2	5	7	11	98
	水痘(入院例に限る)	2	1	2	3	4	1	2	3	1	3	2	1	25
	梅毒	17	17	11	15	13	11	15	15	8	12	8	6	148
	播種性クリプトコックス症				1				1					2
	破傷風				1								1	2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症									2		1		3
	百日咳	2		1	5	13	10	29	34	27	44	30	39	234
風しん								14	35	49	41	32	171	
麻しん	1												2	
	計	103	81	79	99	126	103	139	175	160	208	156	159	1,588

2018年に報告された全数把握対象の感染症 月別内訳(男)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	21	17	21	20	31	21	29	34	15	30	23	23	285
三類	細菌性赤痢			1								1	1	3
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1		3	4	3	7	11	13	5	1	1	50
	腸チフス													0
四類	E型肝炎			1	1			2		1	2	1	3	11
	A型肝炎	1	3	4	5	5	5	2	4	5	1	3	2	40
	デング熱							1	1	1	1	1	1	6
	ライム病													0
	レジオネラ症			2		1	2	4		4	5	3	3	24
	レプトスピラ症									1				1
五類	アメーバ赤痢		1		3	3	4	3	3	4	3	1	4	29
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)				1				2	1				4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	1	2	1	9	4	4	9	7	7	3	6	57
	急性弛緩性麻痺					1								1
	急性脳炎	3		1			1				1	1	1	8
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1										1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	1	1	1	1		1	1				8
	後天性免疫不全症候群	2	2	3	6	1	3	4	1	2	4	2	2	32
	ジアルジア症				1						1			2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		2				1	2					2	7
	侵襲性髄膜炎菌感染症				1									1
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	9	6	4	12	1	4		1	4	7	4	60
	水痘(入院例に限る)	1	1	2	1	2	1		2	1	2		1	14
	梅毒	14	10	8	10	11	8	14	10	6	9	4	4	108
	播種性クリプトコックス症													0
	破傷風			1									1	2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								1		1			2
	百日咳				1	5	4	12	15	7	24	13	14	95
風しん								9	26	43	37	24	139	
麻しん	1												2	
	計	58	49	54	58	86	59	88	103	96	143	102	98	994

2018年に報告された全数把握対象の感染症 月別内訳(女)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
二類	結核	18	12	10	14	17	9	8	13	14	20	10	11	156	
三類	細菌性赤痢		1									1		2	
	腸管出血性大腸菌感染症	4	2	1	2	4	16	7	16	8	8	7		75	
	腸チフス									1				1	
四類	E型肝炎						2	1		3				6	
	A型肝炎						1							1	
	デング熱			1					1	1		2		5	
	ライム病							1						1	
	レジオネラ症		3		3	1		1			1	1	1	11	
	レプトスピラ症														0
五類	アメーバ赤痢			1	1			1				1	2	6	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)				2		1		1					4	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3		1	1	2	2	3	5	2	4	2	1	26	
	急性弛緩性麻痺										1	1		2	
	急性脳炎	2	2		1					1		1	1	8	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		1						1				3	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	1		1		4	1			1	2	13	
	後天性免疫不全症候群						1	1	1					3	
	ジアルジア症													0	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			1	1	1	1		1				7	
	侵襲性髄膜炎菌感染症													0	
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	4	4	5	2	2	2	3	1	1		7	38	
	水痘(入院例に限る)	1			2	2		2	1		1	2		11	
	梅毒	3	7	3	5	2	3	1	5	2	3	4	2	40	
	播種性クリプトコックス症			1					1					2	
	破傷風														0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症									1					1
	百日咳	2		1	4	8	6	17	19	20	20	17	25	139	
風しん								5	9	6	4	8	32		
麻疹												1	1		
計		45	32	25	41	40	44	51	72	64	65	54	61	594	

2018年に報告された全数把握対象の感染症 年齢層別内訳(男女)

		0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計
二類	結核				5	11	19	17	21	19	25	19	23	18	42	38	43	141	441
三類	細菌性赤痢						1	1							3				5
	腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス	7	10	6	8	28	14	3	9	3	5	6	5	7	4	5	2	3	125
四類	E型肝炎								1	1	3	2	2		2	2	2	2	17
	A型肝炎					5	6	6	9	4	5	4			1			1	41
	デング熱			3	1		2		3		1	1							11
	ライム病								1										1
	レジオネラ症								1				1	4	7	6	7	9	35
	レプトスピラ症								1										1
五類	アメーバ赤痢							3	3	8		8	6	3	2	1		1	35
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)				1		2		1	2		1		1					8
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3			1			1			2	4		5	13	9	15	30	83
	急性弛緩性麻痺	2		1															3
	急性脳炎	7	7											1		1			16
	クロイツフェルト・ヤコブ病														1	3	2		6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2				2	1	1				1	2	2	1	2	1	6	21
	後天性免疫不全症候群				2	2	8	2	8	4	4	2	1	1	1				35
	ジアルジア症			1		1													2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1								1	4		7	14
	侵襲性髄膜炎菌感染症													1					1
	侵襲性肺炎球菌感染症	14	2	1			1	2	3	6	1	4	5	9	15	8	27		98
	水痘(入院例に限る)		2	1		4	3	2		5	1			1	1	1		4	25
	梅毒	1			3	20	19	18	19	20	19	13	4	5	2	2	1	2	148
	播種性クリプトコックス症																		2
	破傷風				1											1			2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								1	1					1				3
	百日咳	40	92	47	6	5	2	7	11	6	5	4	3	2	2		2		234
風しん	2		1	3	9	28	23	18	28	24	19	10	3	3				171	
麻疹						1	1					1						3	
計		79	113	60	32	84	108	87	110	104	100	87	62	58	97	89	83	235	1,588

2018年に報告された全数把握対象の感染症 年齢層別内訳(男)

		0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計
二類	結核				2	5	12	14	13	16	17	16	17	14	33	22	28	76	285
三類	細菌性赤痢						1	1							1				3
	腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス	2	6	3	6	13	6		2		1	2	3	2	1	1	1	1	50
四類	E型肝炎								1		2	2	1		1	1	1	2	11
	A型肝炎					5	5	6	9	4	5	4			1			1	40
	デング熱			1	1		1		1		1	1							6
	ライム病																		0
	レジオネラ症												1	4	5	6	5	3	24
	レプトスピラ症								1										1
五類	アメーバ赤痢							2	1	5		8	6	3	2	1		1	29
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)						1		1	1		1							4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1			1						2	3		5	11	7	11	16	57
	急性弛緩性麻痺			1															1
	急性脳炎	1	6																8
	クロイツフェルト・ヤコブ病														1	2			3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1											1		1	2	1	2	8
	後天性免疫不全症候群				2	2	7	2	8	4	4	1		1	1				32
	ジアルジア症				1		1												2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症														1	4		2	7
	侵襲性髄膜炎菌感染症													1					1
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	2	1						2	4	1	1	3	7	11	4	18	60
	水痘(入院例に限る)		1			3				4	1				1	1		3	14
	梅毒	1			2	11	10	11	14	18	16	11	4	5	2	2		1	108
	播種性クリプトコックス症																		0
	破傷風				1											1			2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症									1					1				2
	百日咳	18	33	26	2	1	1	1	3		3	1	2	1	2		1		95
風しん	2			2	6	16	20	15	25	23	18	8	2	2				139	
麻疹								1				1						2	
計		32	48	32	20	46	61	58	69	80	79	70	45	41	75	60	52	126	994

2018年に報告された全数把握対象の感染症 年齢層別内訳(女)

		0～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80歳 以上	計
二類	結核				3	6	7	3	8	3	8	3	6	4	9	16	15	65	156
三類	細菌性赤痢				2	15	8	3	7	3	4	4	2	5	3	4	1	2	2
	腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス	5	4	3								1							75
四類	E型肝炎									1	1		1		1	1	1		6
	A型肝炎						1												1
	デング熱			2			1		2										5
	ライム病								1										1
	レジオネラ症 レプトスピラ症								1						2		2	6	11
五類	アメーバ赤痢							1	2	3									6
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)				1		1			1				1					4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2							1				1		2	2	4	14	26
	急性弛緩性麻痺	2																	2
	急性脳炎	6	1													1			8
	クロイツフェルト・ヤコブ病															1	2		3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					2	1	1			1	1	2					4
	後天性免疫不全症候群						1					1	1						3
	ジアルジア症																		0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1										5
	侵襲性髄膜炎菌感染症																		0
	侵襲性肺炎球菌感染症	8							1	2	1	2		3	2	2	4	4	9
	水痘(入院例に限る)		1	1			1	3	2		1			1					1
	梅毒					1	9	9	7	5	2	3	2					1	1
	播種性クリプトコックス症																		2
	破傷風																		0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症									1									1
百日咳	22	59	21	4	4	1	6	8	6	2	3	1	1				1	139	
風しん			1	1	3	12	3	3	3	1	1	2	1	1				32	
麻しん						1												1	
計		47	65	28	12	38	47	29	41	24	21	17	17	17	22	29	31	109	594